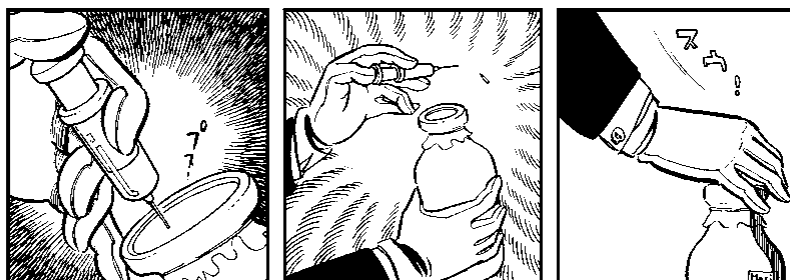
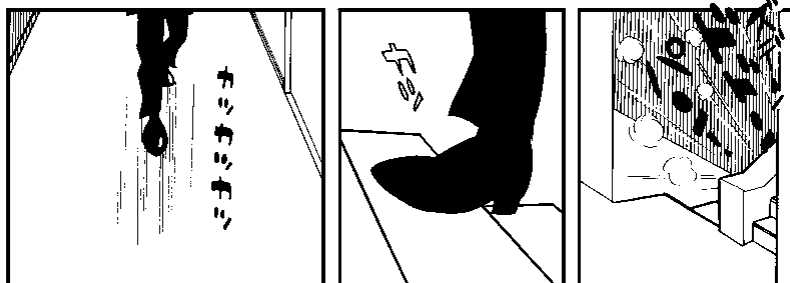
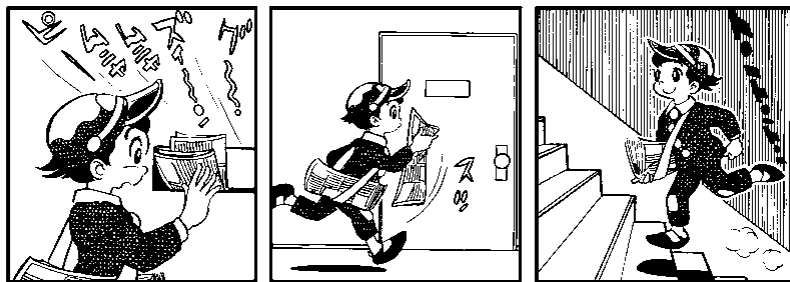
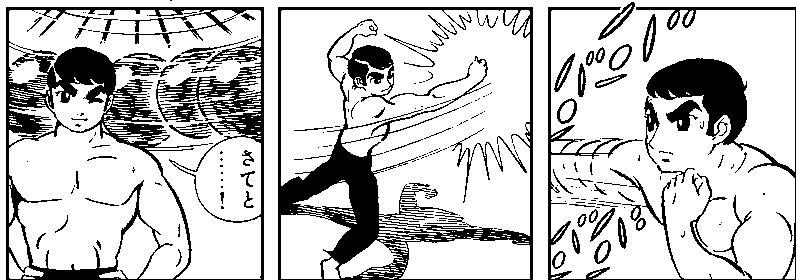
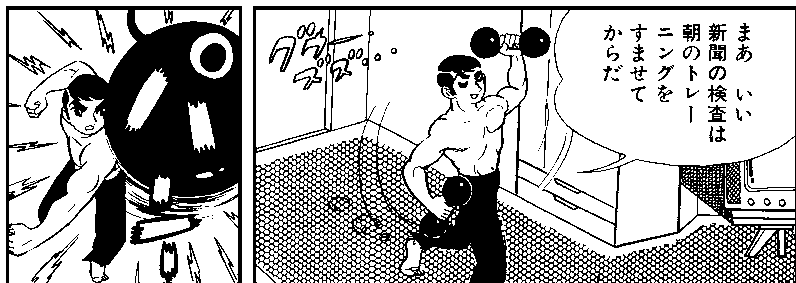
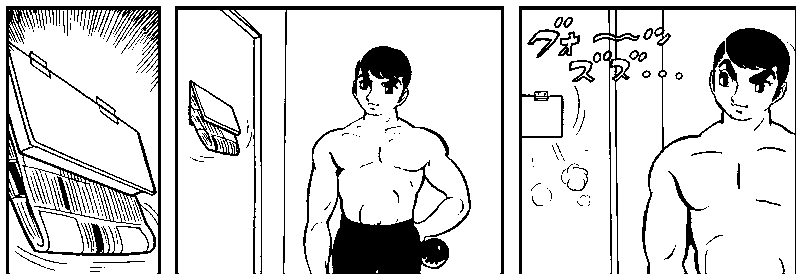
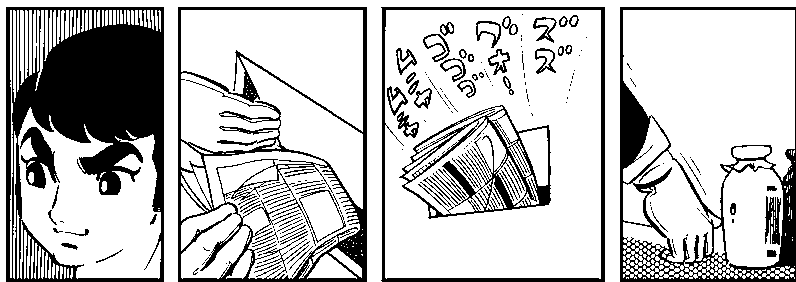
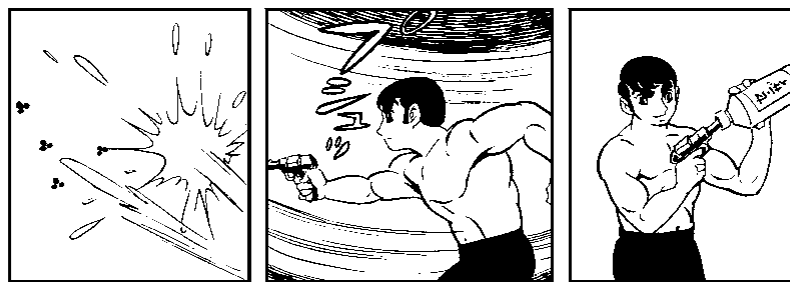
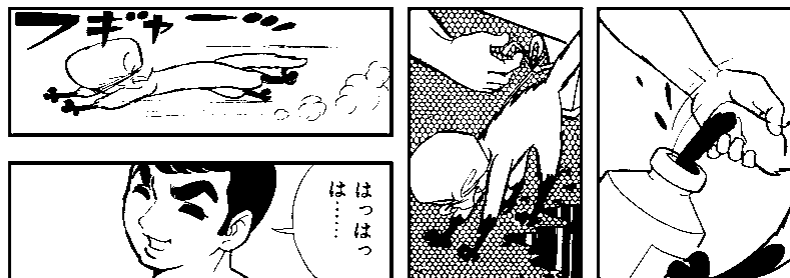
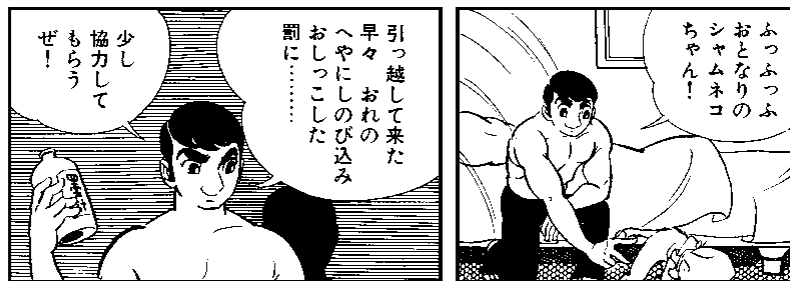
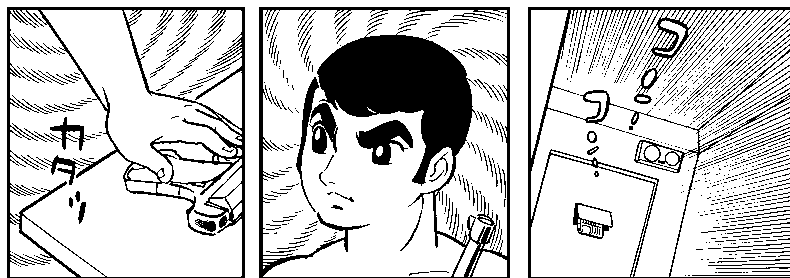
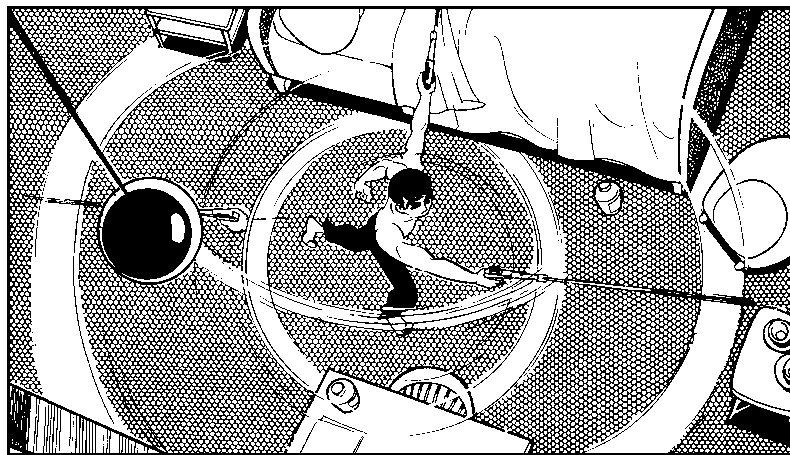
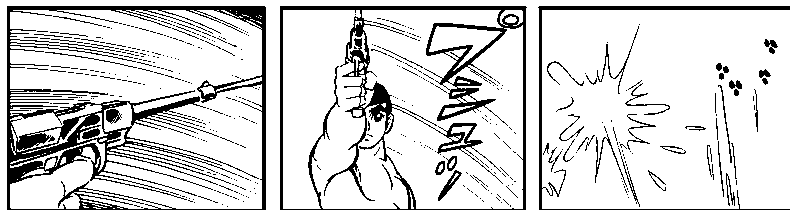
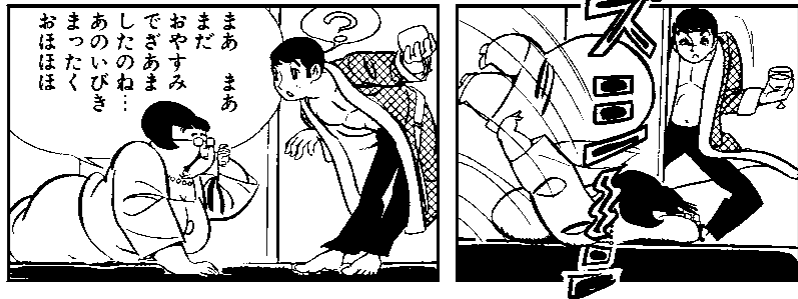
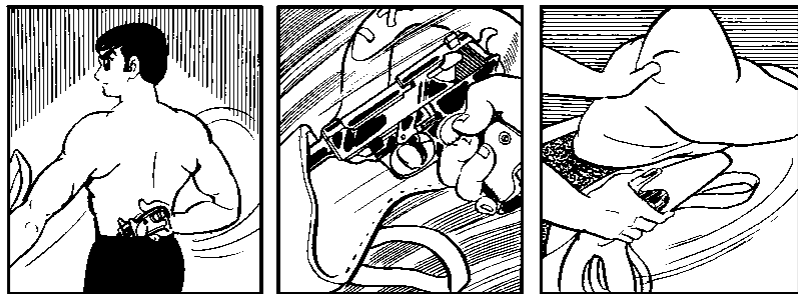
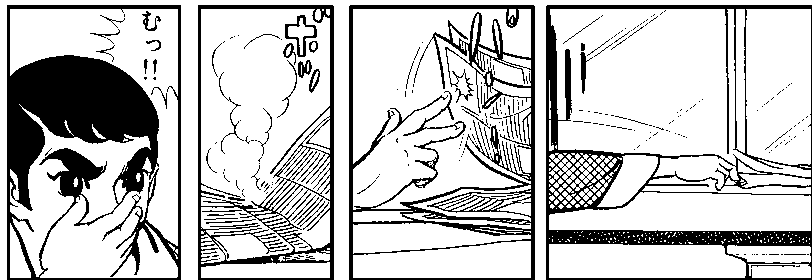
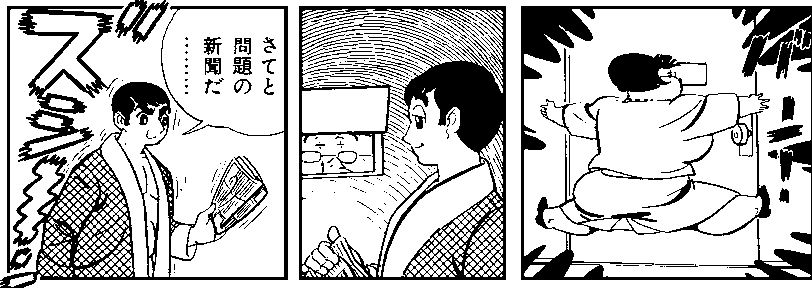
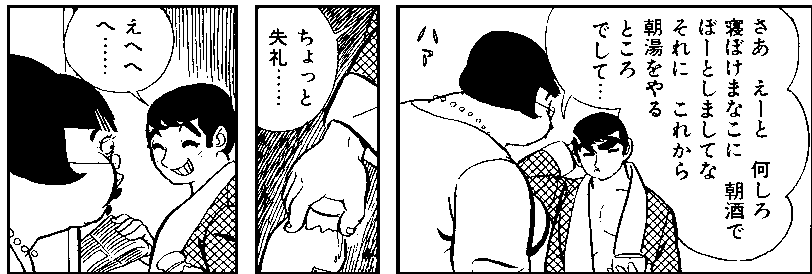
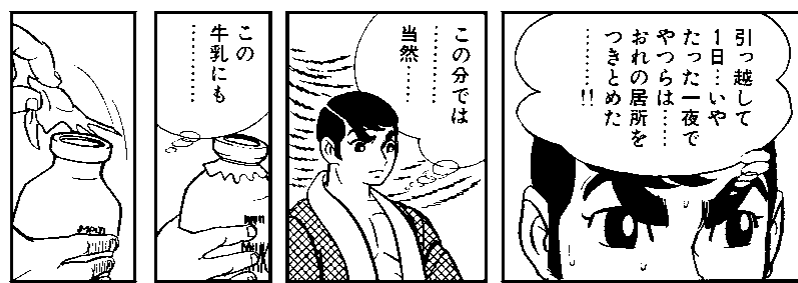
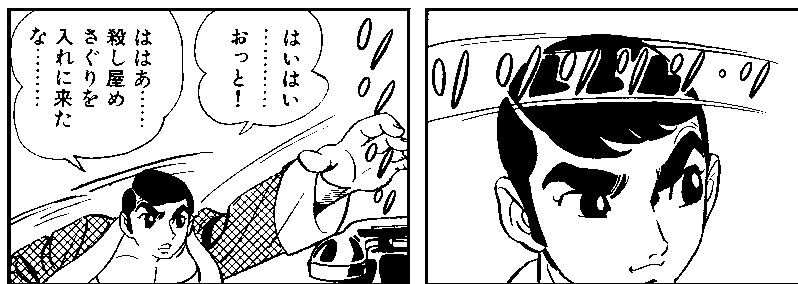
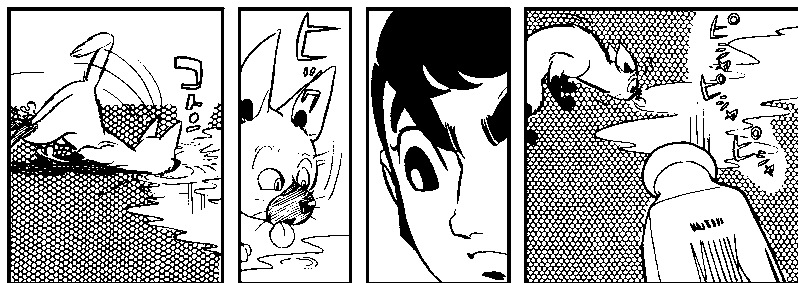
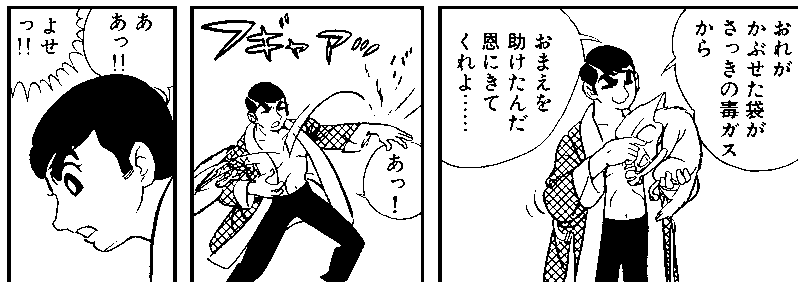
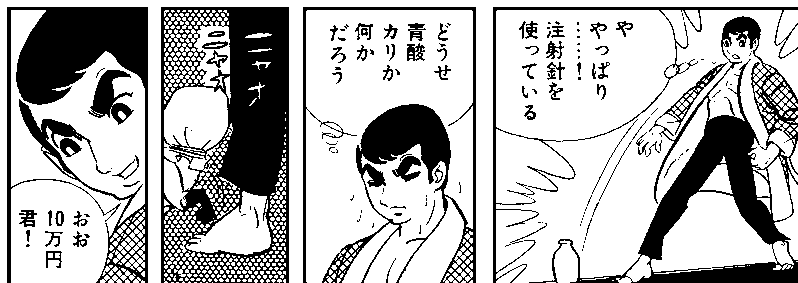


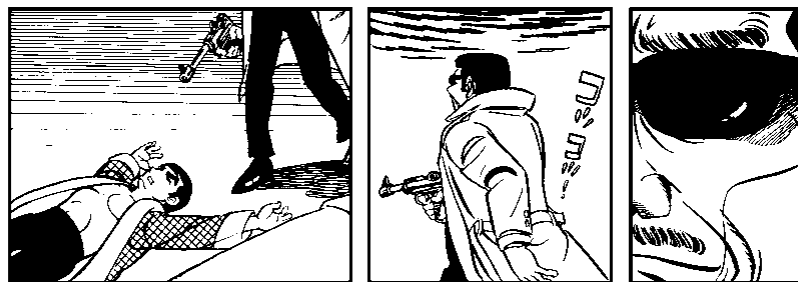
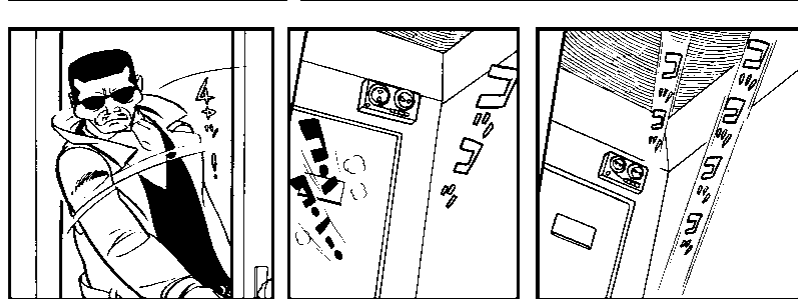
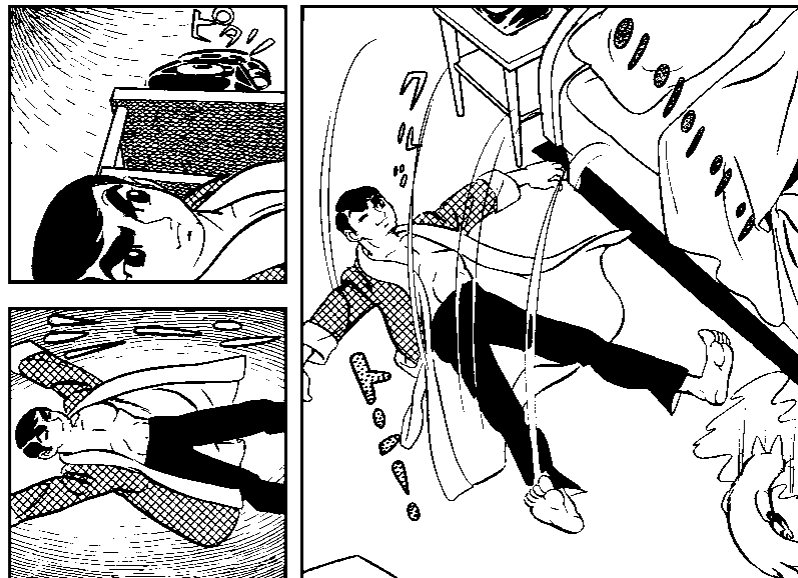
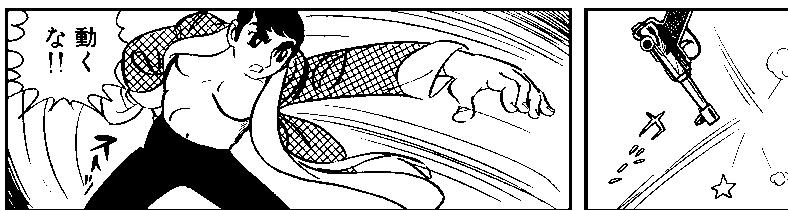
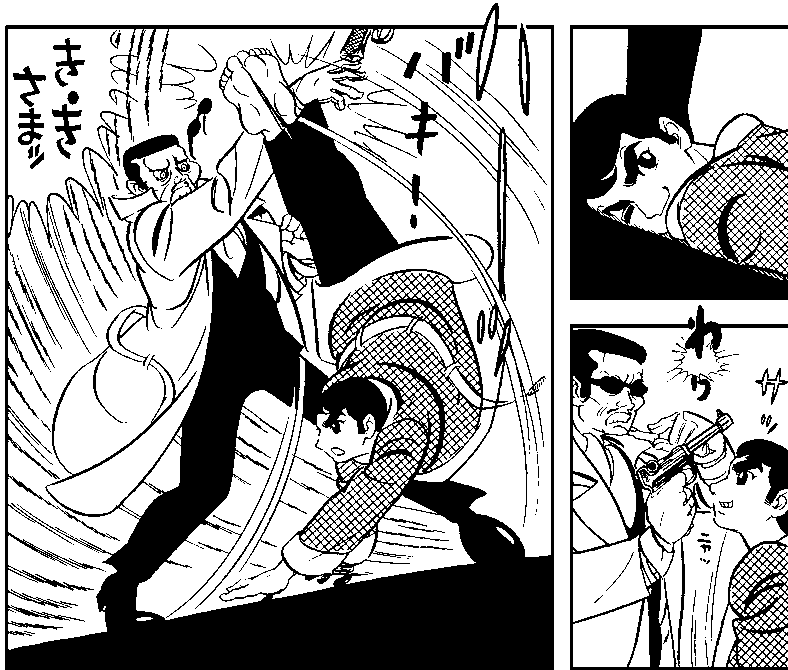
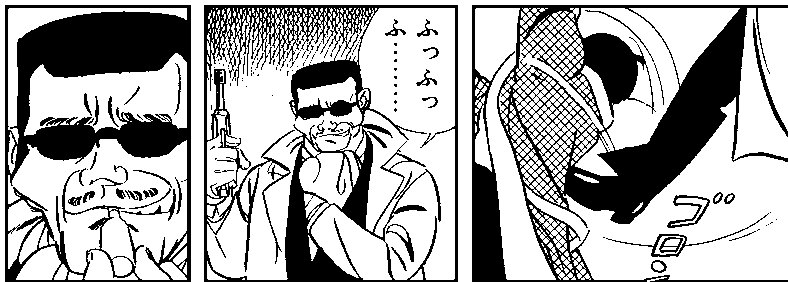
●初出
『挑戦者AAA』
『少年画報』(少年画報社)1967年1月号～12月号













おれの動きに
気づかな
かったとは
AAAも
やきが
まわった！
それに
この銃は
おまえの顔を
焼けただせる
硫酸入りの
特殊銃
なのさ！

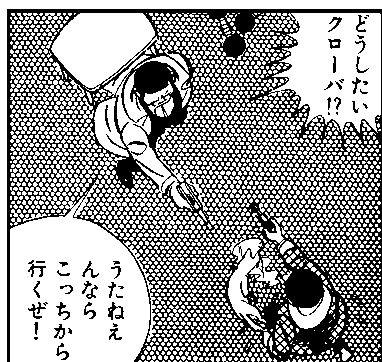


さあ
間抜けは
どつちの
ことか
な！！



さあ クローバ
相打ちと
行こうや
ふつははは……

おれを射殺しても
焼けただれた
おまえの顔は
ますます 組織の
追跡から がれ
にくくなる！

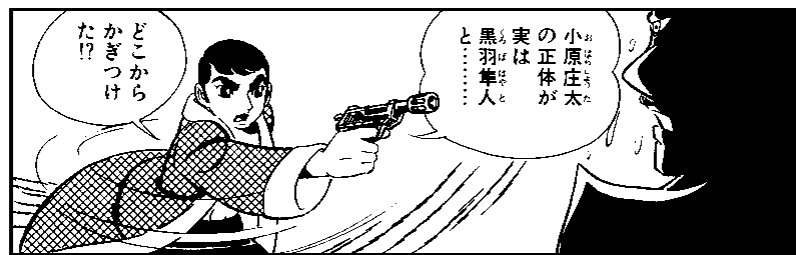
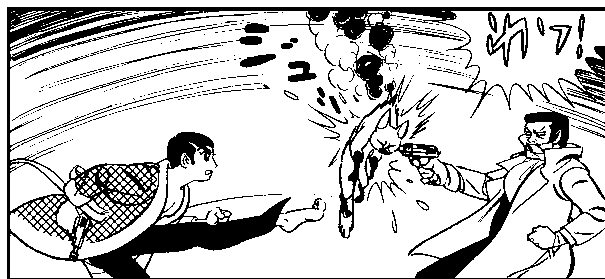


どうしたい
クローバ!?

うたねえ
んなら
こつちから
行くぜ！



裏切者の死は
時間の問題
だ！



小原庄太
の正体が
実は
黒羽隼人
と………

どこから
かぎつけ
た!?



我々は
不思議だ！
元は 我らの
秘密組織
メフェイスの
一員だった
おまえが なぜ
メフェイスの
追跡から
逃げられると
考えたか……



ふつふふ
それを
言うなら
おれも
だぜ



メフェイスの
幹部は
部下だった
おれを
AAA:
つまり

知能 勇気
行動ともに
エースの
三冠王とか
はめたっけ



そのAAAに
なぜ
おまえのような
間抜けな
殺し屋を
送って
来たかと
………

そうだ
ろう
君?

